



298号
2024/11

日中文化交流市民サークル'わんりい'
町田市三輪緑山 2-18-19 寺西方
〒195-0055 ☎ : 044-986-4195
<http://wanli-san.com/>
Eメール:t_taizan@yahoo.co.jp



埔里のバスターミナル：台湾中部の地方都市、埔里(ポウリ)のバスターミナルです。ベンチに貼ってあるのは、「ペンキ塗りたて」ではなく、「博愛席(シルバーシート)」のシールでした。観光地の日月潭へは30分、新幹線「高鉄」台中駅へは約1時間の田舎町です。
(2024年4月 台湾南投県埔里にて 撮影:佐々木健之)

wàng yáng xìng tàn
望 洋 興 嘆

中国で見つけた“有名小学校入学準備の為の”絵本から

文と訳・有為楠君代ういくす

今月の成語、日本の辞典では、一冊にだけ載っていましたが、解釈がこの本とは少し違うようです。

・>・>・>・>・>

昔昔のそのまた昔、黄河を治める河伯かほくは、自分が最も偉大な水の神だと思っていました。誰かが黄河より大きな河があると言っても、決して信じようとはしませんでした。

秋がやって来ました。そんなある日、何日も暴風雨が続いたことがありました。黄河は、普段よりも水量が増し、河幅が広がって、滔々と流れていました。河伯はその様子を得意げに見ながら、大きな水面を持つ海神・北海を尋ねて行って、どちらが大きいか、ちょっと比べてみようと思いました。

海神かいじん・北海は、河伯を見ると満面の笑みで迎えてくれました。河伯が首を巡らせてみると、辺り一面、水、水、水で、天地の境も分かりませんでした。それを見た河伯は恥ずかしくなり、感嘆して言いました「ああ、以前の私は、いつも自分自身が大きいと思って、驕り高ぶっていた。今日、この目で水が満ち満ちて果てしない北海を見なかったら、私は未だに、黄河は天下第一だと思っていただろう」

・>・>・>・>・>

言葉の意味：自分の力不足で、どうしようもない時、無力を嘆いて言う言葉

言葉の使い方：キツネは疲れ果てていて、崖の向こう側にウサギを見つけたけれど、望洋興嘆、とても追いかける気にはなりませんでした。

・>・>・>・>・>

このお話は、戦国時代の思想家・荘子の著作と言われる「荘子・秋水篇」の中に出てくるお話です。ご存知のように、荘子は、無為自然を説き、中

国の老荘思想の拠り所となる考え方を、動物や自然を擬人化して、分かり易く伝えていきます。

このお話、私が持っている他の子供向け「四字成語辞典」にも載っていて、「周りの様子を知らないで、自分は大きな存在だ」と思ってはいけないと教えています。

これに対し、日本語の四字成語辞典 3冊のうち 2冊には、この言葉は載っていませんでした。

唯一載せていた辞典によると、読み方は「望洋



挿絵：満柏画伯

興嘆（ぼうようこうたん）」で、その意味は、「遠くを望んで長嘆息するさま、前途が広遠でとりとめがなく、ため息をついて諦める譬え」となっていて、絵本の説明と微妙に違います。これは、幼児教育ならではの工夫の結果でしょうか。

因みに、広辞苑では四字成語としての「望洋興嘆」は掲載されていません。「望洋」は「遠方を眺め

ること、また広々として目当てがつかないさま」と載っています。更に読み進むと、同じ「ぼうよう」の欄に「亡羊」があり、ここで四字成語「亡羊之嘆」が出て来ます。

荘子と同時代、同じ方向の思想家と言われ、同じように詳細は不明の列子が著した本に載るお話として有名です。

ある人の羊が一匹逃げてしまい、隣近所の人を総動員して探したが、森の中は分かれ道が多くて、探し出すことが出来なかったというお話で、列子は、羊の逃げた森を学問の森になぞらえて、学問の道は多岐にわたり、突き詰めれば突き詰めるほど奥が深く、本質をとらえることが難しいと教えているのです。「望洋」と「亡羊」、同じ「ぼうよう」ですが、嘆じるものは随分違います。

『豫報』・『河南』という名の刊行物(つづき1)

文と写真=村上直樹

中国の伝統劇と言えば京劇であるが、そのほか全国各地に特有の地方劇があることが知られている。河南省に伝わるのは「豫劇」である。豫劇は歌に特徴があり、その声調は高らかで快活なものもあれば、悲しげで余韻を残すものもあり、多様な題材の劇を演じることができる。京劇、越劇、黄梅戲、評劇と並ぶ中国五大戯曲劇の1つに数えられ、代表的な地方劇の1つである。

去る10月4日、その豫劇が大阪で来日公演を行った(右ポスター参照)。私は実際に見に行くことができなかつたが、動画を含む報道等を通じて当日の大いに盛り上がった様子を窺い知った。日本公演は中国建国75周年を記念して実施され、国家一級俳優である李樹建氏率いる劇団が「花木蘭」、「包青天」といった豫劇の代表的作品の名場面を演じた。写真は当日の舞台より、関羽が主役の『義薄雲天』からの一場面である。

さて、先月号では1925年5月4日に河南省開封で創刊された日刊紙『豫報』の特別ページ(副刊)に魯迅による「北京通信」(北京だより)という文章が掲載されたことを紹介した(同紙5月14日付)。当時、魯迅は45歳になっており、北京に住んで北京大



「豫劇」大阪公演のポスター
(インターネットより)



「豫劇」大阪公演の舞台(中国新聞網[2024年10月8日]より)

学ほかの講師を務めていた。1925年は、3月12日に「革命尚未成功」(革命未だ成らず)の言葉を残して孫文が逝去している。また、5月4日と聞くと、誰でも1919年の同日、北京で学生を中心に挙行された、反帝国主義、反封建主義の抗議活動を思い出さずにはいられない。

ここで、あらためて「鄭州商都遺跡博物院」の特別展に展示されていた『豫報副刊』の創刊号を(私が撮った)写真で確認すると、果たして「五四運動」、「五四運動と国民革命」といった文章が並んでいる。さらに魯迅による「北京通信」には終わり近くに「昨天鬧了一個小亂子，許多學生被打傷了；聽說還有死的，我不知道確否。」(昨日、ちょっとした騒ぎが

あり、たくさんの学生が負傷しました。死者も出たということですが、確かかどうかわかりません。)と書かれている(邦訳は、1984年、学習研究社刊による)。あっさり書かれているが、これは2025年5月7日に北京の各校の学生が「国恥」の記念と孫文の追悼のために集会を開こうとして治安当局に阻止された弾圧事件を指す。ここで「国恥」とは10年前の1915年5月7日、日本が袁世凱に対して「対華21か条」を承認するよう最後通牒を突き付け、袁世凱が最終的に受け入れたことを言う(『魯迅全集』の注釈)。

なお、余計なことであるが、学習研究社刊の日本語訳(中国語底本は第1版、1981年、人民文学出版社)の注によると、「北京通信」の宛先となっている二青年のうちの一人、向培良という人物は「その後、墮落して国民党反動派の手先になった。」とある。一方、私が参照している『魯迅全集』(修訂編輯委員会、2005年、人民文学出版社)には、それに当たる原文が見当たらない。やや不思議である。版の違いによるものだろうか。

前回（10月号）の「雑感」で述べたように、この日刊紙と同名であるが別の刊行物として雑誌『豫報』が存在する。私はこちらの『豫報』について実物（影印本を含む）を見たことはないが、手元に点校（校訂）本（秦方奇他、2020年、中央編訳出版社）があるので、これに従ってやや詳しく紹介することにしたい。

表は『豫報』第1号の目次である。前回の「雑感」でも書いたように、この『豫報』は続いて発刊された『河南』の前身と言え、その『河南』には魯迅が何編かの重要な文章を投稿している。その意味で『豫報』と魯迅とは間接的な関係がある。魯迅は1902年、22歳の時に留学のため来日し、1904年（24歳）の8月に仙台の医学専門学校に入学した。その後、1906年（26歳）の6月に東京に戻り、医学を止めて文芸の道に進むようになる。1909年（29歳）の6月に帰国した。つまり『豫報』、『河南』の刊行時期は正に魯迅の日本滞在時期と重なっているのである。

『豫報』と魯迅はより直接的な関係もあった。目次の冒頭に「新書（新刊書）出版広告」とあるが、この新刊書とは、ともに日本留学生で外国語学校の周樹人（魯迅）と東京帝国大学鉱化専科の顧琅の共著『中国鉱産志』（初版は1906年5月刊）と『中国鉱産全図』（顧琅編集）のことである。広告文は魯迅本人が書いている。1981年版『魯迅全集』には未収録であるが、中国の各地における地質・鉱物資源に関する調査研究の成果が書かれているようである。なぜ、魯迅が地質・鉱物なのか？と疑問に思ったが、魯迅は江南陸師学堂（陸軍学校）付設の路鉱学堂（採鉱科）を卒業しており（1901年）、専門家なのである。1903年10月に

は「中国地質略論」という単著論文を、当時東京で出版されていた『浙江潮』第8期上で発表している（こちらは1981年版『魯迅全集』に収録されている）。

「目次」の2行目から4行目までは『豫報』の創刊に当たって、その主旨などが記述されている。創刊主旨については「改良風俗、開通民智、提倡地方自治、喚起国民思想」（風俗の改善、人心の開放、地方自治の提唱、国民思想の喚起）を唯一の目的とするとされ、また「促黄河流域一部開化最早之民族雄飛於世界」（黄河流域の最も早く文明化した民族が世界に羽ばたくことを促進する）とも述べられている。後継の『河南』が「吾今掃除不自由之方略、其目的在消滅皇帝」（不自由を排除しようという我らの今日の戦略は、その目的を皇帝の消滅とする）と宣言して、革命支持の旗幟を鮮明にしているのに対して『豫報』の創刊主旨は迫力不足の感が否めない。その理由は、河南出身日本留学生から広く資金を集めて創刊されたため、構成員が多様で、反清革命を主張する中国同盟会々員もいれば、清国の下で立憲保皇を志向する立憲派も含んでいたためである（『河南通史』第4巻、128頁）。「目次」の5行目以下にあるように、掲載分野が多岐に亘っているのもその理由からであろう。

『豫報』の発行は毎月1回、と書かれているが、実際にはそれは守られなかった。かつ、1908年5月までにわずか第6号を出しただけで停刊となってしまった。編輯（編集）部の住所は「日本東京巢鴨村四丁目一千零二十一番地長竹館内」であり、印刷人は藤澤外吉、印刷所は秀光社、住所はいずれも「日本東京市神田区仲猿楽町四番地」と記載されている。秀光社は、ごく最近まで「咸（かん）亨（きょう）酒店」という中華料理店があった場所にあり、中国同盟会の機関誌『民報』も印刷していた。社長の藤澤外吉は孫文ら中国人革命家と親交のあった人物である（内田弘「古賀暹『北一輝』[御茶の水書房、2014年]を読んで」『ちきゅう座』2014年7月23日）。「咸亨酒店」という名を聞くと魯迅の『孔乙己』がすぐ思い浮かぶ。私も神保町の店の前は何度か通りかかり、いずれ入って見たいと思っていたが、残念ながら昨年（2023年）末に閉店してしまったようだ。（つづく）

『豫報』第1号の目次（〔 〕内は村上による訳）

- 新書出版広告
- 豫報公啓併簡章〔豫報創刊の公式発表並びに簡単な紹介〕
- 豫報弁言〔豫報序言〕
- 『豫報』之原因及其主旨〔『豫報』の創刊理由及びその主旨〕
- 論説
- 政治
- 地理
- 実業〔ビジネス〕
- 時評
- 訳叢〔翻訳集〕
- 文苑〔文壇〕
- 小説〔短編小説〕
- 新聞〔ニュース〕
- 雑俎〔雑学〕
- 調査

「秦皇島」から「承德」へ 「避暑山莊・外八廟」駆け足旅行(17)

文と写真 吉光 清

銀行や証券会社に勤めている方、デイトレードやFX(先物取引)をなさっている方を別にすれば、毎日の円価格の上下に注意を払う人は、それほど多くはないと思う。勿論、ニュースの中で頻繁に取り上げられるようになれば、当然、多少は気になって来て、景気や物価への影響はどうなるだろうかと心配するようにはなる。しかし、それが直ちに自分の行動に繋がることはあまり無い。

ただし、海外旅行を計画した場合は別である。「もう少し円高になってから両替しよう」とか、「しまった、先週、両替しておけば良かった」などと、筆者でも、日毎の僅かな円の上下に敏感になり、両替に走ったりしてしまう。

長年にわたり愛読している「〇〇旅行記」の類では、両替は極めて重要なイベントとして描かれる。「あちらの両替屋のレートは？ 闇ドル買いの相場では？」等々であり、切実な問題であった。

ところが、そうしたことは“昔話”になりそうである。国内で使っているクレジットカードが国外でも利用でき、スマホで電子決済も出来てしまう。“便利、この上無い”が、海外旅行のドキドキハラハラの一つが失われることは確かである。

■「景山」頂上からの眺め

「万春亭」の中には入れないので、建物を取り巻く



「神武門」とその向こうに霞む「故宮」の建物群

石造りの回廊に立って周囲を眺めた。ボンヤリ霞んでいる中で、北側と東側の方向には目を引くような、特徴的な景観は見られなかった。

西側には湖が広がっている。地図を見ると「北海」らしい。「中海」、「南海」へと繋がって、「天安門」の西側まで南北に長く続いているようである。

南側の眺めは北から「故宮」を見下ろすようになる。こうして見ると「景山」麓の樹々と「故宮」内の樹々の緑が繋がり、緑の海のようになって、その中に故宮の建物群の屋根が浮かんでいる。

一番近くに「神武門」が見え、それに続いて「钦安殿」、そして「坤宁宮」の屋根が見えているようである。その後方にある一対の高楼は「千秋亭」と「万春亭(景山頂上と同名)」かも知れない。そのまた向こうはぼんやりして、良く見えない。それにしても「元→明→清」の歴代王朝の造営による見事な左右対称を実感する。

時刻は正午に近づいていた。しかし、ホテルへの道を引き返すだけでは勿体ないので、先ほど見えた湖畔に行ってみようと、西に向かって下る道を進んだ。こちらは人通りが無く静かである。木陰の道はひんやりして気持ちが良く、道端の石に腰掛けてランチを摂った。傍らに日本でもお馴染みの「ギボウシ(擬宝珠)」の花が咲いていた。

■歩いていたら、「梅蘭芳記念館」があった

道なりに「景山公園」の外に出たが、其処は湖の近くではなかったので、足に任せて北に向かい、やがて東西に走る道路との合流地点で左に進んだら湖畔に出た。湖畔(「北海」ではなく、その北にある「前海」と判明)



傍らに「ギボウシ(擬宝珠)」の花

には「薄荷市場」という表示があり、ハッカを商う市場かと興味を持ったが、到底、開店している時刻ではないと思い直した。そこを通り過ぎると、落ち着いた雰囲気通りの通りが斜めに交叉している場所があったので、そちらの道に移った。

やがて、着いた交差点には「柳萌街」という標識と、近くの塀には「恭王府售票处、30メートル先の恭王府院内」という案内が貼られていた。8か月前に、団体旅行で「恭王府」を見学して、皆と逸れ、仕方なく出口で落ち合ったことを思い出した。

そちらの方向へは進まず、西に向かって進んだら、思い掛けなく道路右側に「梅蘭芳記念館」があった。手持ちの地図に記載は無い。開館中であっても、さすがに立ち寄るだけの時間は無いと思われた。幸か不幸か、改修中で閉館していた。

ここまで歩いて来て疲れを感じた。太陽が時々、顔を出し、午前中と比べ、かなり気温が上がっている。すっかり汗まみれになった。

時計を見ると、13時半を回っている。そろそろホテルへ戻る算段をした方が良さそうである。明朝早くの帰国便のため、北京空港近くのホテルに移動しておかなければならない。

地図を見ると、「平安里」地下鉄駅が近そうなので、そこへ向かっていると、道路左側に「北京人民劇場」があった。

■空港近くのホテルを目指して

「平安里」駅から6号線に乗り、3つ目が「东四」駅だった。14時過ぎにホテルから荷物を引き取り、北京空港に向かった。まず、「东查門」駅まで行き、そこから「机场線」に乗り換え、「第3ターミナル」



強風で倒され、歩道を塞いでいた街路樹

で下車、地下のタクシー乗り場からタクシーに乗車して行き先はメモで伝えた。この時刻に国際線に到着した客ならば、遠方まで乗車するのが普通であろうから、運転手は近くのホテル所在地を見てやや不満そうに見えた。

タクシーは順調に走り、メモが示す場所に着いたらしかたが、運転手は「ホテルが見当たらない」と、スマホでホテルに電話を掛け始めた。

路肩に停車したタクシーから、一步、歩道に降りてみてびっくり。北京市の中央部では蒸し暑くはあったが、雨が降る気配は全く感じなかった。ところが、こちらは嵐だったようだ。雨が止んだばかりの情景で、道路は濡れ、あちこちに水溜まりがあって、強風で倒された街路樹を撤去しようと、作業員が伐採作業の真っ最中であった。

■悪夢の再来！！

電話を済ませた運転手が「現在、此処にはそのホテルは無くなった」と言い、スマホを寄越して、未だホテルと繋がっている電話に出ろと言う。電話に出ると、英語で「現在居る場所まで迎えに行くので、そこから動かないように」と言う。何ということだ、またしても、宿泊に関するアクシデントが！今度はクレームを言う相手すら目の前に居ない！

タクシーが料金25元を受け取り、走り去るのを感謝一杯で見送った。もし、「この近くだから降りて探せ！」と車から降ろされていたら、そのホテルが見つかる筈も無く、「万事休す」だった。（つづく）

●資料：

・「北京旅游交通図」人民交通出版社股份有限公司、2016



改修中だった「梅蘭芳記念館」

飛来峰

訳：一瀬靖子／大槻一枝

昔、四川の峨眉山¹⁾に、空を飛ぶことが出来る小さな山がありました。小さな山は東へ飛んだり、西へ飛んだりしました。飛び移るごとに多くの人家を押しつぶして災害をもたらしました。

そのころ、西湖の傍の靈隱寺²⁾に濟顛和尚^{さいてん}という人がいました。彼は一日中ぶらぶらと遊び歩き、仏門の規定や規則も眼中になく、芭蕉の団扇を手に、冗談を飛ばしながら、村人とは仲良く交流していました。

ある日、和尚は奇怪な小さな山が、靈隱寺の前にある村に飛来し、落下して来ることを予知しました。山が飛んできて多くの人が下敷きになり、災いを招くことを恐れた和尚は、夜明け前に起き出し、村に駆け込んで、「今日の午後、飛来峰が村に飛んでくる。皆さん、早く逃げなさい！ 遅れると危ないぞ！」と、一軒ごとに知らせて回りました。

しかし、老人たちはこれを聞いても「気違い和尚がまた冗談を言っている。山が飛んでくるなんて、聞いたこともない」と聞く耳を持ちません。

家の大人たちも皆、ため息をついて、「逃げると言っただって、俺たち貧乏な小作人は何処へ逃げればいいんだ？ もし、本当に山が落ちてきて押し潰されたら、それも運命だと諦めるしかないさ！」と相手になりません。若者たちは鼻先で笑いながら、「作り話で我々を脅かすなよ！ 山が落ちてきても、俺たちの肩で受け止めてやらあ」と。

また、子どもたちは声を上げて笑い、和尚の後を手足を振り動かしながら、面白そうに付いて回るのでした。

和尚は、こちらの家からあちらの家へと、喉の渇きも忘れ、口を酸っぱくして、全村百十戸を回って知らせましたが、誰一人、彼の言うことを信用せず、どの家も動こうとしません。

太陽は次第に高く昇り、もうじき正午になります。和尚は気が気ではありません。この時、突然「プープー」というチャルメラの音が、遠くから聞こえてきました。急いで、音のする方へ駆けて行ってみると、ちょうど結婚式が始まろうとしているのでした。新郎新婦が天地に誓いを立てています。部屋の中の人々は喜びにあふれ、人の出入りも賑やかです。

和尚は、腕を組みながら「何かいい方法はないものか・・・」、ジッと考えていました。そして突然、「あっ！、あったぞ!!」と言うが早いか、彼は人の群れを掻き分け、しゃにむに花嫁に近づき、彼女を肩に担ぐやいなや、門を出て走り始めました。

花嫁は頭から赤い布を被ったまま、突然、誰かに担がれ、いったい何が始まったのか見当もつかぬまま、走り出されて、恐ろしさに悲鳴をあげました。

「濟顛和尚が花嫁を奪っていった。捕まえろ！」と、天秤棒を構える者、マグワを構える者などが声を枯らしながら、懸命に和尚を追い掛けました。



「峨眉山」と「靈隱寺」の位置(ウィキペディアを参考)



杭州「靈隱寺」(百度圖片より)

追い掛けながら大声で、「濟顛和尚をつかまえろ！ 濟顛和尚をつかまえろ！」、「前を遮れ！ 濟顛和尚を逃がすな！」。

騒ぎは直ぐ全村に知れ渡り、人々を驚かせました。新郎新婦と親戚関係が有るか無いかに関わらず、友達であるか、ないかにも関わらず、男も女も、老いも若きも、村中が総出で、和尚を追い掛けました。

ただ、村の東に住む金持ちだけは動こうとせず、門前に立って、騒ぎを「対岸の火事」と眺めながら、「ハーン、生き菩薩様が花嫁を奪うとは、世にも珍しいことだよ！ ヒッヒッヒッ」と笑っていました。

濟顛和尚は花嫁を背負ったまま、しゃにむに走りました。その速いこと！ 皆は十数里、追いつけましたが追いつきません。太陽が頭上を照らし始めたころ、和尚はようやく走るのを止めました。彼は背中から花嫁を下ろし、自分も坐って団扇で風を入れました。人々がようやく追い付いて、和尚を殴ろうとした時、空が急に暗くなり、伸ばした五本の指さえ見分けがつかぬほどに真っ暗になりました。強い風が吹きすさび、ゴロゴロと大きな音が響いて、人々はまともに歩くこともできません。

やっと立ち上がって見ると、おや？ すでに風は止み、雲も散って、太陽がまた頭上に輝いています。見ると小さな山が村に落ちて来ていました。

この時、人々はやっと濟顛和尚が花嫁を奪った理由に気付いたのです。

村は小さな山に押しつぶされ、皆、帰る家が無くなりました。ある者は戸惑って泣き騒ぎましたが、和尚は、「何で泣くんだ！ 地主だった、村の金持ちは山に押し潰されて死んでしまった。これからは皆、それぞれ自分の田畑を持ち、耕せることになったのだ。家だって新築できないことはないぞ！」。

人々はそれを聞き、なるほどと喜んで、村に戻ろうとしました。すると、濟顛和尚が「ちょっと待った！ 皆さん、聞いてくれ。この小さな山は他所から飛んできたものだ、とすれば、また、他所に飛んで行くことが考えられる。他所へ飛んで行けば、また其処で多くの人を死なせる。私は山の上に五百羅漢³⁾を彫って山を鎮め、再び他所へ飛んで行って災いをもたらすことが無いようにしたいと思うが、どうだろう？」。



「飛来峰」(百度图片より)

これを聞いた村人は声を揃えて賛成し、すぐ動き始めました。ハンマーを握る者、ノミを使う者、トンチン、カンチンと、一晩で山の至る所に、羅漢様の像や石灯籠が立ちました。しかし、羅漢様の体は出来ても、顔の中の目、鼻、口が未だでした。和尚は「いい方法がある!」と、ノミもハンマーも使わず、自分の長い爪で羅漢様の顔に目、鼻、口を描き入れました。その後、この小さな山は飛ぶことも無く、靈隠寺の前に留まって動くことはなくなりました。そして、人々に「飛来峰」と呼ばれるようになったということです。

整理：徐飛（浙江省風物伝説より）

■ 訳者解説(ウイキペディアを参考)

- 1) 峨眉山: 中国四大仏教名山(五台山、九華山、普陀山、峨眉山)の一つ。普賢菩薩の霊場とされている。四川省峨眉山市にあり、一番高い峰の万仏頂が 3098 メートルである。1996 年に樂山大仏と共にユネスコの世界遺産に登録された。
- 2) 靈隠寺: 杭州の西湖の西方の山麓にある仏教寺院。伝るところによれば、天竺(インド)の慧理により、東晋時代(326 年)に建てられたものという。9世紀の「会昌の廃仏」により廃止となり、その後再建されたが、1851 年の「太平天国の乱」で大部分の建物は焼失。その後再建された。靈隠寺の近くの「飛来峰」には、呉越時代から元代に到る間に刻まれた 300 体を超える石像がある。これらの石像は、全国重点文物保护单位に指定されている。また境内には、日中国交正常化を記念して 2002 年に建てられた「空海」の像もある。
- 3) 五百羅漢: 五百羅漢像は靈隠寺境内の羅漢堂にあるが、羅漢堂は 1936 年に焼失し、現在のものは再建されたものである。

『獅子心王・リチャード1世』

和田 宏

私は、イギリス中世時代の王、リチャード1世(1157～1199 享年41)が好きです。リチャード1世は獅子心王(英語; Lion-hearted King 仏語; Cœur de Lion)と呼ばれた男です。日本では、源頼朝と同じ頃の人です。リチャード1世は、思い込んだらどこまでもという情熱家。第3回十字軍にイギリス王として初めて参加し、勇ましく、恐ろしく、どこまでも天真爛漫な男でした。

私が好きな理由の一つは、イスラム教をやっつけようとしたことです。キリスト教の聖地エルサレムを解放し、イスラム教をせん滅せんがため、十字軍に参加しました。10年間の王位在位中(1189～1199)、国内で政治を執ったのはわずか6ヶ月。あとは十字軍に参加するなど国内のことなどほっぽらかして、海外に出突っ張り。最後は、敵の矢が肩に刺さって41歳で死去。この無鉄砲というか、一途というか、単細胞というか、純粋というか、どうせ人間の一生なんか勘違いなものならば、彼みたいに好きなことをして死ねれば、これに越したことは無い。ジャン・カルヴァーンは、人は生まれる前から死んだ時に、天国、地獄、煉獄のどこに行くかは既に決まっていると言っています。だからこそ、カルヴァーン派の信者は、この世で一所懸命、思い残すこと無く働いて燃え尽くし、他人を幸せにするんだと、逆説的にそう考えるようになったそうです。私もこれに近い感性と信条の持ち主です。

北フランスの一貴族のノルマンディー公ギヨームが麾下を率いてイングランドに乗り込み、1066年にウィリアム1世(征服王)として即位、ノルマン朝を開き、イギリス王室の開祖となりました。征服王の玄孫がリチャード1世・獅子心王です。獅子心王から25代目の

子孫が、2022年に96歳で亡くなったエリザベス2世で、彼女の長男がチャールズ3世です。だから現国王のチャールズ3世から見ても獅子心王は血の繋がったご先祖様なのです。

さて、リチャード1世はノルマンディー公でもあったので、フランス北部のノルマンディー地方の言葉、つまりフランス語を日常語として使い、公用語もフランス語でした。リチャード1世は、父ヘンリー2世から相続したフランス国内の領地に加え、母アリエノール・ド・アキテーヌからもフランスの広大な領地を相続し、当時はフランスの西南部を治めることが中心で、イギリスにもちょっぴり領地を持っているという感じでした。生まれた所は、イギリスのオックスフォードでしたが、殆どフランスで育ったので、当時の英語(=フランス語から見て離島の方言)が、まともに話せませんでした。

リチャード1世は、父の死去によって1189年にイングランド王としてロンドンのウェストミンスター教会で戴冠式を行ったあとは、母の出身地方であるフランスの反乱鎮圧に力を注いだので、イングランドには殆ど居ませんでした。そのうえ、持ち上がった大きな問題が、『十字軍』の派遣要請でした。第1回十字軍が遠征して作った『エルサレム王国』が、イスラムのサラディンによって奪われたことに衝撃を受けたローマ教皇グレゴリウス8世が、聖地奪回を呼び掛けたのです。これに応じて、キリスト教の信仰心篤く、理想主義者であったリチャード1世は、自ら遠征軍を率いて行くことを決意しました。彼は十字軍(クルセイダーズ Crusaders)の1人となったのです。

フランスのフィリップ2世も、オーストリアのレオポルト5世も参加し、イギリス・フランス・ドイツ連合による第3回十字軍が組織されました。エルサレムには、キリスト教にとってはイエスが処刑された場所と言われる「聖墳墓教会」があり、イスラム教にとっては教祖ムハンマドが昇天した場所とされる「岩のドーム」があって、それぞれの聖地が重なっているため、長年、紛争の種になっています。

私がイスラム教を嫌う理由には、女はヒジャブを被って耳を塞ぎ、他人の話を聞いてはならないとか、女の耳は性器より恥ずかし所であるとか、女に学問はいら



リチャード1世(獅子心王)肖像と、ウェストミンスター宮殿に立つ騎馬像。右下は彼が使用した王室紋章(ウィキペディアより)

ないなどと教えていること。一方、男は4人まで女を妻や妾にすることが出来るとしていることなどです。私がNHK国際放送局で働いていた時、アラビア語放送の外部スタッフにイスラム教徒が大勢居ました。

彼らは、1日に5度もメッカの方角に向いて跪き、頭を何回も床につけるようにして礼拝するのです。仕事の中で電話が来ようが一切お構いなし。その上、原稿上の間違いを指摘すると、“アッラーの言うままにただけだ。アッラー・アクバル！（神は偉大なり！）”と答える。こりゃー、ダメだと私は思ったのです。

さて、リチャード1世は、1189年に4000人の甲冑兵と4000人の歩兵を100隻の軍船に乗せてイングランドを発ち、地中海経由でエルサレムを目指しました。1191年、サラディンのイスラム軍を撃破して、イスラエル北部の重要な港湾都市アッコンの占拠に成功。処刑した捕虜3000人の中には女性や子供もいました。アラブ地域では、言うことを聞かない子供に、“リチャード王が捕まえにくるぞ”と脅しました。「獅子心王」という呼び名は、イスラム教徒達がつけたとも言われています。

サラディンと1年間にわたる戦闘と交渉を並行して続け、1192年、やっと休戦条約を結び、キリスト教徒はエルサレムに巡礼できるようになりました。リチャード1世が35歳で、サラディンが54歳でした。リチャード1世は、彼自身の妹ジョアンナをサラディンの弟と結婚させ、二人の王権のもとでエルサレムを治めるという講和話をもちかけたのです。サラディンは直ぐに同意しましたが、肝心のジョアンナが、イスラム教徒との結婚など出来ないかと拒否したため、結局、不成立に終わるというエピソードもありました。

リチャード1世は、中東からイギリスに戻る途中、アドリア海で船が遭難し、オーストリア公レオポルト5世の捕虜になりました。レオポルト5世は、他人の手柄を横取りしようとする自分の軍旗を掲げさせたところ、リチャード1世の兵士に引き摺り下ろされたことを恨みに思っていて、1194年、リチャード1世を神聖ローマ帝国皇帝ハインリッヒ6世に、売り渡してしまいました。このハインリッヒ6世も、自分より人気のあるリチャード1世に嫉妬して、身柄を釈放するのに国家予算の何倍にも当たる莫大な身代金（10万ポンド）を要求しました。72歳の母親アリエノール・ド・アキテーヌが東奔西走し、死ぬ思いでお金を集めて身代金を払い、リチャード1世は、1194年2月2日にやっと解放されました。出陣から4年後の1194年に一旦帰国したりチャード1世でしたが、王座を温める暇もなく、再び出兵。

それは、出征している間に、フランス王フィリップ2世が、ノルマンディー地方にあるイギリス領に侵攻していたからでした。リチャード1世は、再びフランスに渡り、各地でフィリップ2世の軍と交戦。イギリス領を取り戻しました。しかし、1199年3月26日に、リチャード1世は、矢で肩を射貫かれて瘻疽になり、10日後の4月6日に41歳で亡くなりました。急を聞いた母アリエノールは、馬を走らせ、一番意気投合した最愛の3男リチャードの最期を何とか看取ることが出来たのです。リチャード1世は、フォントヴロー修道院にあるお墓に眠っています。

リチャード王の妻は、スペイン北部のナヴァラ王国の王女ベレンガリア・オブ・ナヴァールでしたが、二人の間には世継ぎが誕生しませんでした。リチャード1世は、臨終の枕元に集まった家族や家臣に対して、“これから言うことをよく聞いて、ちゃんと守ってくれ”と言い、イングランド王を継承するよう推薦したのが、弟のジョン王でした。

ジョンは、兄のリチャード1世がドイツで幽閉されると、フランス王フィリップ2世と提携して王位篡奪を画策したり、兄が亡くなった後、フィリップ2世と戦って敗れて領地を失ったりしたため、“失地王”と綽名されました。ジョン王は「無能・暴虐・陰謀好き・裏切り者・恥知らず」と評され、重税をかけるなど失政を重ね諸侯・庶民の反感を買って、1215年、王権を制限する『マグナ・カルタ』に同意させられた男です。彼以降の国王に“ジョン”と言う名前の人は居ません。

リチャード1世時代の伝説上の義賊に、ロビン・フッドが居ます。長弓の名手で、ジョン王の悪政に反抗し、高官らから金品を奪い貧者に与える義賊で、国民的英雄として描かれました。リチャード1世は、ロビン・フッドを助け、悪を懲らす頼もしい王として描かれています。

右手に剣をかざしたりチャード1世のブロンズ製の騎馬像が、ロンドンの英国議会貴族院の建物を背に立っています。ヴィクトリア女王らの依頼で1856年に作られましたが、様々な変遷を経て、1867年3月に現在の場所に設置されました。

私は、『十字軍の音楽』というCDを買い、リチャード1世が作詞、作曲したと伝えられる歌曲“囚われ人は(Janus hons pris)”を聴きました。彼が捕虜になった時の、囚われの身の悲しさを歌ったものです。イギリス風ではなく、アラブ風の旋律に聞こえます。

♪ 嗚呼！ 何と 悲しげな曲

意外なり 獅子心王の 作りし歌は♪ (完)

2桁同士の掛け算を暗算で求める早業 (5) 河野公雄

今回は、任意の2つの二桁の数の掛け算に対応できるオールマイティな計算法、ここでは、「パターンオール」と名付けた方法を紹介しします。この方法は、これまでに紹介したものよりは少し手間がかかります。それでも15秒あれば計算できると思います。

本題に入る前に、1冊の本を紹介したいと思います。この本です。



頭からポンポンできる「二つビンタ暗算法」；久留義寿著，文芸社，2015。

ユーチューブ動画に上がっている「インド式計算法」をたくさん見っていますが、その中で一風変わった計算法を解説しているものがありました。それが、「二つビンタ法」というもので、解説を見てもなかなか理解できませんでした。そこで、その中で広告されている上の本を購入して読み始めました。今回の説明の中には、この本から得た知識の一部が入っています。それでは、本題に入りましょう。

38×73の暗算です。頭の中では、以下のように数字を思い浮かべています。



$$\begin{aligned}
 &3 \times 3 = 9 \\
 &8 \times 7 = 56, \quad 65 \\
 &3 \times 7 = 21, \quad (+6) \quad 27 \\
 &8 \times 3 = 24, \quad (+50) \quad 74 \\
 &2774
 \end{aligned}$$

3×3=9は外・外の積です。38×73の最初の数字3と最後の数字3とを掛け合わせます。次の8×7=56は内・内の積です。38×73の「×」記号の前・後の数8と7とを掛け合わせます。そして、外・外の積9と内・内の積56を足し合わせて65を得ます。ここまでがワン・ステップ。この数字65を覚えておきます。次に、38×73の十位の数3と7を掛け合わせて21を出し、これに先ほど覚えた65の十位の数6を足して27を得ます。これが答えの上二桁の数字になります。次に、38×73の一位の数8と3を掛け合わせて24を出し、これに先ほど覚えた65の一位の数5を足すのですが、足す相手は24の2です。早い話が、24に50を足すのです。ここを間違わないように。そうすると74が得られます。これが答えの下二桁の数字になります。27に74を続けて2774、これが答えです。

次は、54×84の暗算です。頭の中では、以下のように数字を思い浮かべています。



$$\begin{aligned}
 &5 + 8 = 13 \\
 &13 \times 4 = 52 \\
 &5 \times 8 = 40, \quad (+5) \quad 45 \\
 &4 \times 4 = 16, \quad (+20) \quad 36 \\
 &4536
 \end{aligned}$$

外・外の積5×4=20、内・内の積4×8=32、足し合わせて52と出しても良いのですが、外・外、内・内に共通の数がある場合は、共通の数で括って、(5+8)×4=52としたほうが速く計算できます。ここまでがワン・ステップ。この数字52を覚えておきます。次に、54×84の十位の数5と8を掛け合わせて40を出し、これに先ほど覚えた52の十位の数5を足して45を得ます。これが答えの上二桁の数字になります。次に、54×84の一位の数4と4を掛け合わせて16を出し、これに先ほど覚えた52の一位の数2を16の十位の数1に足し、36を得ます。これが答えの下二桁の数字になります。45に36を続けて4536、これが答えです。

次は、47×56の暗算です。頭の中では、以下のように数字を思い浮かべています。



$$\begin{array}{l}
 4 \times 6 = 24 \\
 7 \times 5 = 35, \quad 59, \quad 6(-1) \\
 4 \times 5 = 20, \quad (+6) \quad 26 \\
 7 \times 6 = 42, \quad (-10) \quad 32 \\
 \quad \quad \quad 2632
 \end{array}$$

外・外の積 $4 \times 6 = 24$ 、内・内の積 $7 \times 5 = 35$ 、足し合わせて 59。ここまでは大丈夫ですね。その次の $6(-1)$ は何でしょうか。 $6(-1)$ は $60 - 1$ 即ち 59 のことなのです。59 を $6(-1)$ と形を変えている理由は、この後に起きる繰り上がりを避けるための処理です。外・外の積と内・内の積との和、この数の一位の数が $7 \cdot 8 \cdot 9$ のような大きい数の時、最後に繰り上がりが生じる可能性が高いのです。この例では、下二桁を出すときに $7 \times 6 = 42$ 、 $42 + 90 = 132$ と 3 桁の数になり、繰り上がりが起こります。これを避けるために、59 を $6(-1)$ としているのです。繰り上がり起きるかどうかは、一位の数の積が何十台になるかをチラッと見て判断します。細かく計算する必要はありません。 7×6 で 40 台だなという程度でいいです。この数字 $6(-1)$ を覚えておきます。次に、 47×56 の十位の数 4 と 5 を掛け合わせて 20 を出し、これに先ほど覚えた $6(-1)$ の十位の数 6 を足して 26、これが答えの上二桁の数字になります。次に、 47×56 の一位の数 7 と 6 を掛け合わせて 42 を出し、これに $6(-1)$ の一位の数 (-1) を 42 の十位の数 4 に足し、32 を得ます。これが答えの下二桁の数字になります。26 に 32 を続けて 2632、これが答えです。

次は、 49×83 の暗算です。49 のように、一位の数に 9 がある場合はもう一つの計算法があります。まずは通常の解き方。



$$\begin{array}{l}
 4 \times 3 = 12 \\
 9 \times 8 = 72, \quad 84 \\
 4 \times 8 = 32, \quad (+8) \quad 40 \\
 9 \times 3 = 27, \quad (+40) \quad 67 \\
 \quad \quad \quad 4067
 \end{array}$$

外・外の積 12、内・内の積 72、足し合わせて 84。この数字 84 を覚えておきます。次に、 49×83 の十位の数 4 と 8 を掛け合わせて 32 を出し、これに先ほど覚えた 84 の十位の数 8 を足して 40 を得ます。これが答えの上二桁の数字になります。次に、 49×83 の一位の数 9 と 3 を掛け合わせて 27 を出し、これに 84 の一位の数 4 を 27 の十位の数 2 に足し、67 を得

ます。これが答えの下二桁の数字になります。40 に 67 を続けて 4067、これが答えです。

もう一つのやり方は、49 を $5(-1)$ と見て、 $5(-1) \times 83$ の計算をします。



$$\begin{array}{l}
 5 \times 3 = 15 \\
 (-1) \times 8 = (-8), \quad 7 \\
 5 \times 8 = 40 \\
 (-1) \times 3 = (-3), \quad (+70) \quad 67 \\
 \quad \quad \quad 4067
 \end{array}$$

そうすると、外・外の積 15、内・内の積 (-8) 、足し合わせると 7 になります。この数字 7 を覚えておきます。外・外の積と内・内の積との和が一桁の数になった場合は、 $5(-1) \times 83$ の十位の数 5 と 8 を掛け合わせた 40 に何も足す必要はありません。40 がそのまま上二桁の数字になります。次に、 $5(-1) \times 83$ の一位の数 (-1) と 3 を掛け合わせた (-3) に、7 を 70 として足し合わせれば 67 が得られ、これが下二桁の数字となり、4067 が答えとなります。

このように、マイナスの数の考え方を導入すると、繰り上がりをうまく処理できたり、取り扱う数を小さくできたりという効果があります。更に、外・外の積と内・内の積との和が 0 になることもあります。例えば、 39×82 の暗算をしてみましょう。これは、 $4(-1) \times 82$ と変形できます。



$$\begin{array}{l}
 4 \times 2 = 8 \\
 (-1) \times 8 = (-8), \quad 0 \\
 4 \times 8 = 32, \quad (-1) \times 2 = (-2) \\
 \quad \quad \quad 3200 - 2 = 3198
 \end{array}$$

外・外の積は 8、内・内の積は (-8) となるので和は 0。 $4(-1) \times 82$ の十位の数の積は $4 \times 8 = 32$ 、一位の数の積は $(-1) \times 2 = (-2)$ 。外・外の積と内・内の積との和が 0 なので、32 がそのまま上二桁の数字、 (-2) がそのまま下二桁の数となるので、 $3200 - 2 = 3198$ と計算し、これが答えとなります。

外・外の積と内・内の積との和が $10 \cdot 20 \cdot 30 \sim 90$ のように一位の数が 0 になる場合があります。こんなときは、一位の数同士の積がそのまま下二桁の数字になるので、とても楽に計算できます。

パターンオールの方法を用いれば、二桁同士の掛け算が必ず暗算でできるようになります。是非、練習してみてください。(つづく)

私の心に残る旅②－「恩施市 その2」

樊 婷婷 (fán tíng tíng)

前回に続き、今回も「恩施大峡谷」の風景や土家族の風習などについてご紹介します。

現地に着いた2日目は、「清江画廊」の見学です。清江は全長423キロにも及ぶ長江の一級支流で、源を恩施州の齐岳山に発し、恩施を西から東へと流れて長江に入ります。私たちは数百人が乗れる豪華遊覧船に乗り、説明を聞きながら爽やかな空気の中で兩岸の景色を鑑賞しました。兩岸は風光明媚で、山や岩、奇石、滝、まるで山水画のように美しく、「八百里（400キロ）清江画廊」と呼ばれ、世界でも、最も美しい大渓谷の一つと称賛されています。乗船時間は約5時間で、船の中で土家族の若い男女たちが少数民族の歌やショーを披露したり、燻製品の肉や手作りお菓子などの土産品を宣伝したり、販売したりしていました。

3日目は、恩施観光の目玉といえる恩施大峡谷（全長108キロ）の見学です。私たちは大峡谷の駐車場で峡谷内専用の環境保護バスに乗り換え、ロープウェイの乗り口まで行って、ロープウェイで登りました。その後、5時間をかけて峡谷の見どころを歩き回りました。断崖絶壁、流れる滝に深い谷、そびえ立つ奇峰群など、雄大な景

色のオンパレードです。また、様々なカルスト地形が見られるので、「カルスト地形天然博物館」とも呼ばれています。ガイドさんの紹介によりますと、恩施大峡谷は地球上で最も美しい大峡谷の一つと言われ、中国のグランドキャニオンとも称されているそうです。大峡谷からは、世界最長のエスカレーター（長さは688メートル）

で降りました。風景の雄大さ、大自然の迫力に感激しました。

4日目は「土司城」の見学です。恩施は中国では土家族の伝統文化をよく残している最大規模の町です。「土司」とは土家族の王様を指し、「土司城」は土司が公務を行った場所であり、またその一族の生活場所でもありました。その入口には土司城門楼があり、土司の威儀と功績を記念して建てられたものです。四層にな



恩施大峡谷の風景(2018年5月、筆者撮影)

っている屋根のそれぞれにたくさんの赤い提灯がぶらさげられており、独特の佇まいが美しいです。城内には墨冲楼や鍾楼などいろいろな建物があり、典型的な土家族の民家である吊脚楼^{注)}の形です。

5日間の旅を満喫して、帰りは恩施空港から



摔碗(お碗を割る)。「悩みを捨て、卑しい人から離れ、病気を捨て、悪運を捨て、戦いを捨て」と壁の紙に書いてあります。看板の文章は左から横書きです。

(2018年5月、筆者撮影)

約 1 時間の飛行で武漢空港に着き、そこで飛行機を乗り換えて上海に戻りました。とても充実した旅でした。

恩施大峡谷は近年、中国の人気の観光地となり、中国人の観光客は多いのですが、海外への PR が不足している為か、外国人観光客はまだ少ないようです。皆さんはぜひ今のうちに行ってみてはいかがでしょうか。

■土家(トゥチャ)族について

中国の 55 の少数民族の一つです。主に湖北省、湖南省、重慶市に居住しています。人口は約 800 万人で、中国の民族の中で 8 番目に多い民族です。言語はチベット・ビルマ語派に属し、長く漢族と交わって暮らしてきたため、現在ではトゥチャ語を母語とする人口は 10 万人程度とされ、ほとんどが中国語を母語としています。近年来、農業や観光業が発達し、経済の発展が速く、文化教育も進んでいます。



民族服の土家族(百度百科より)



土家族の民家、土家吊脚楼(百度百科より)

■土家族の風習

・摔碗(お碗を割る)

土家族は豪快な性格を表すために、お酒を一気に飲んでからそのお碗を割る風習があります。これは、昔、土家族に 2 つの対立した部族があって、2 人の長老は民族の生存と発展のため、2 人で酒を飲み、遺恨を残さないために飲み干した碗を割ったということから由来したそうです。私もレストランで無料体験に参加して、お酒を飲み干したお碗を思い切って地面に投げて割りました。とてもスッキリした気分になりました(笑)。

■注 吊脚楼：斜面の多い地形に懸造(かけづくり)と同様に柱を長く突き立てて高低差を調整した建築様式。

みんなの広場

薬膳講習会開催

10月14日(祝・月)、薬膳料理講習会を開催しました。講師は漢方の勉強をされて、日常にも薬膳料理を取り入れておられる、会員の趙迪さんにお願ひしました。

厳しい夏で疲れた身体のために、秋には、白い食材が良いそうで、この日の献立は「蓮根とスペアリブのスープ」、「白きくらげと梨のデザート」、「サラダ」の3品を教えてくださいました。主食はピーナッツの炊き込みご飯です。

「サラダ」を除く2品とも調理に時間がかかるので、時間内に出来上がるか心配しましたが、趙さんが手際よく教えてくださり、3品共、時間内に出来上がりました。皆で美味しく頂き、片付けも終わった時に、大きなサプライズがありました。

実は、講師の趙迪さんは、わんりいの創設者・田井光枝さんと同じ町内に住んでおられて、町内会報上でも、薬膳料理のレシピを掲載し、講習会も開いておられます。そんなご縁で、田井さんから、趙さんのわんりい第一回の講習会開催に対するお祝いとして、町内会報に掲載した薬膳料理のレシピをクリアブックファイルとして作成し、趙さんが当日の参加者全員に配るよう手配してくださいました。皆さん、大喜びで、有難く頂戴して帰りました。



【満柏画伯の展覧会】

「第20回日中水墨協会展」

併催「国際芸術家展 yokohama2024」

■期間：2024年11月5日(火)～11月10日(日)

■場所：神奈川県民ホールギャラリー

第1、第2、第3展示室

最寄り駅：元町・中華街駅徒歩4分

横浜市中区山下町3-1

■開催時間：通常10:00～18:00

最終日15:00まで

~~~~~

\*展覧会初日、11月5日(火)催し有り

13:00より 水墨画無料体験会

14:00より 「中国皮影」の紹介

15:00より 開幕式

(上記、全て参加無料)

詳細は下記リンクまで：

<https://topart.main.jp/exhi2011.html>

### ◇満柏画伯の漢訳俳句◇

枯れ枝に

鳥のとまりけり

秋の暮れ

松尾芭蕉

qiū shēn mù sè wǎn

秋 深 暮 色 晚

kū zhī niǎo guī qī

枯 枝 鸟 归 栖

## 【わんりいの催し】

### ♪ ボイス・トレで日本語の歌を歌おう！

身体力を抜いて気持ちよく発声しよう！  
声は健康のバロメーター!!

\*動きやすい服装でご参加ください。

- 会場：玉川学園コミュニティーC 多目的室3
- 日時：11月5日(火) 10:00~11:30  
12月24日(火) 10:00~11:30
- 講師：Emme [エメ] (歌手)
- 会費：1,500円 (講師謝礼・会場費)
- 定員：15名 (原則として)
- 申込：☎042-735-7187 (鈴木)

~~~~~

*** 中国語で読む 漢詩の会 ***

漢詩で磨く中国語の発音！ 中国語のリズムで読んで漢詩のすばらしさを味わおう！

- 会場：町田市民フォーラム 視聴覚室
- 日時：11月17日(日) 予定
〔11月13日(水)までに確定します〕
- 講師：植田渥雄先生 桜美林大学名誉教授
- 会費：1,500円 (会場費・講師謝礼)
- 定員：20名 (原則として)
- 申込：☎090-1425-0472 (寺西)
Email:ukiuki65jpp@yahoo.co.jp
(有為楠)



■11月・12月定例会 代表宅

- ▼11月 7日(木) 13:45~
- ▼12月 12日(木) 13:45~

■‘わんりい’ 発送 三輪センター

- ▼12月号 12月1日(日)
- ▼2025年
1月号 12月28日(土)

☆☆ 編集後記 ☆☆

10月の末になっても、日本各地で、日中25°C以上になる「夏日」を記録して、「観測史上最も遅い夏日」が続出、地球温暖化のギアが一段上がったように感じました。テレビで世界のニュースを見ると、日本では考えられないような広い、一見海のような泥水の中に、屋根だけの住宅が点在していたり、強力な竜巻に襲われた街の写真などが目に飛び込んできます。日本の土砂災害の爪痕に驚かされた目にも、更なる驚きが走り、これらの地域がこれからどうなるのかと、心配が募ります。

復興出来たとしても、又すぐに違う処が壊されるでしょう。地球温暖化を止めない限り。

~~~~~

‘わんりい’は、新入会をいつでも歓迎いたします

年会費：1800円、入会金なし  
郵便局振替口座:00180-5-134011 わんりい

10月以降の入会は、当年度会費 1000円

■問合せ：044-986-4195 (寺西)

## ‘わんりい’ 298号の主な目次

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| 寺子屋 四字成語(77)『望洋興嘆』……………                  | 2  |
| 「中原雑感」(46)『豫報』・『河南』<br>という名の刊行物(つづき1) …… | 3  |
| 「避暑山荘・外八廟」駆け足旅行(17)……………                 | 5  |
| 民話『飛来峰』……………                             | 7  |
| 「獅子心王・リチャード1世」……………                      | 9  |
| 2桁同士の掛け算を暗算で求める早業(5)・11                  |    |
| 私の心に残る旅②-「恩施市その2」……………                   | 13 |
| みんなの広場……………                              | 15 |
| ‘わんりい’の催し・お知らせ……………                      | 16 |